

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターやわた		
○保護者評価実施期間	令和6年11月20日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	これまでの実践での積み重ねや科学的根拠をもとに、より専門的な支援を提供するように努めています。	支援計画の作成に当たっては、専門職の意見や心理検査の結果を参考にして、根拠に基づいた支援目標を立てるようにしています。また、日々の支援についても、経験のある職員や専門職がOJTや支援後のフィードバックを行い、より適切な支援になるように努めています。	児童発達支援センターの職員として必要な知識や技術を習得するため、系統的な研修体系を整備していきます。
2	保護者やご家族とのコミュニケーションを大切に、家族支援にも力を入れています。	連絡帳での情報共有やメールでの情報伝達をこまめに行うとともに、積極的に面談の機会を設けるようにしています。また、参観や懇談、行事、講習会等の場を設け、ご家族同士の交流や繋がりがつくり、お子さんとの関わりや遊び、生活に関する情報提供を行っています。	ご家族同士が気軽に交流できる場を増やしていきたいと考えています。きょうだい同士の交流の場についても、検討していきます。
3	児童発達支援センターとして、地域の障害児支援の質の向上への取り組みを積極的に行っています。	こども部会に参画し、他の児発センターや事業所、一般施策の関係機関との関係づくりに努めています。地域の幼稚園や保育園等における障害児支援のサポートにも積極的に取り組み、定期的な巡回や助言を行っています。	地域の関係機関に地域支援の取り組みを周知して、活用を促進していきます。また、関係機関と連携を図る中で、地域のニーズの把握に努めます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動プログラムがやや固定化しており、経験や遊びの幅が広がっていません。	同じプログラムを繰り返して積み重ねることや、見通しを持ちやすくするという安定志向が強く、既存の枠を超えた活動プログラムを取り入れるという意識が持ち難かったのではないかと思います。	お子さんが安心して自信をもって取り組める活動プログラムの良さは残しつつ、新たな活動や遊びの提案を行っていきます。その際は、個々の興味関心や発達課題を踏まえて、効果的なプログラムになるよう留意します。
2	他園他所との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会をあまり設けられていません。	他園他所との交流については、その目的を明確にしきれなかったことが要因だと考えます。また、散歩や公園遊び等で外出する機会が少ないことも課題です。	他園他所との交流については、目的を明確にします。今後は積極的に外出し、地域の資源を活用する機会を設けるようにします。また、地域の保育園や幼稚園に、センターについて知っていただくように努めます。
3	福祉サービス第三者評価が未受審です。	第三者による外部評価は受けていますが、第三者評価事業は任意のため、未受審です。	福祉サービスの質の向上を図り、利用者の方々へ良質で適切なサービスを提供するために、福祉サービス第三者評価を受審します。現状把握、改善課題の明確化、職員自身が日々の業務への課題を発見し、問題意識を共有化することで、施設全体の質の向上を目指します。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども発達支援センターやわた

公表日 令和7年 3月 5日

利用児童数 21名

回収数 17世帯 (80%)

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	0	0	0	・サーキット運動がしっかり行える広さのホールがある。	・活動の内容等によって教室や机の配置等を工夫して、十分に活動出来るようにしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	0	0	0	・専門のスタッフが丁寧に見ている。	・配置基準よりも多い人数(保育士等の専門スタッフ)を配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	0	0	0		・お子さんの身長に合わせた階段の手すりの設置など、バリアフリー化への配慮をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	0		・お子さん達の登所前、降所後や昼食後に清掃、整備の時間を設けています。 ・活動内容に合わせて部屋を使い分けています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	0	・好きなことをとことん出来るところが良い。	・法人理念『踏むな 育てよ 水そそげ』に基づき、お子さん達の好きなことや得意なことをどんどん伸ばしていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	0		・今後もお子さんとご家族に満足いただけるような「わかった」「できた」を大切に支援プログラムを提供していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	17	0	0	0	・支援計画についての面談があり、丁寧に話をしてくれている。	・今後もご家族とご本人のニーズをお伺いし、個別支援計画に反映していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	0		・今後もより具体的で分かりやすい個別支援計画の作成に努め、支援を提供していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		・引き続き、個別支援計画の内容に沿ったきめ細かな支援を心掛けていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1	0	0	・毎日の詳細なプログラムは把握していない。 (未回答：1)	・様々な経験をするここと、繰り返して積み重ねることの両面を大切にしながら、お子さん達が楽しんで参加出来る活動を考えています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	7	6	1	・機会はないが問題はないと思っている。 (2) (未回答：1)	・つくしんぼ教室としては現在交流の機会を設けていませんが、今後検討していきます。 ・地域貢献公益事業「おもちゃ図書館」では、地域の幼稚園や保育園等にチラシを配布し、地域の方との交流の場を提供しています。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0	(未回答：1)	・今後も、丁寧な説明に努めてまいります。	
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0	(未回答：1)	・年に2回の個別面談では、支援計画をもとにお話をさせていただいております。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	0	0	0	(未回答：1)	・12月に保護者向けの講習会を実施しました。 年2回の参観では、ご家庭での遊びや関わりの幅が広がるようなプログラムを実施しました。 ・市主催の研修会や小学校のオープンスクール、説明会の情報提供を行いました。	
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	0	0	0	(未回答：1)	・連絡帳や送迎時の連絡等で、健康や発達の共有に努めています。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	0	0	(未回答：1)	・個別面談だけでなく、参観等の機会を通して保護者の皆様との情報共有や子育てのサポート等に努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0	(未回答：1) ・いつも話を聞いてもらえてありがたい。日々の救いになっている。	・今後もお子さんとご家族の気持ちに寄り添って、一緒に歩んでいきたいと思っております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	4	0	0	(未回答：1) ・ハロウィンやクリスマス会にきょうだいの参加がOKなので、楽しく参加している。 ・保護者同士の交流の機会はあるが、きょうだいのイベントはない。	・夏祭り等のイベントにはご家族皆様でご参加いただきましたが、きょうだい向けのイベントとしての開催は設けておりませんので、今後検討してまいります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	0	0	0	(未回答：1) ・いつでも話を聞いてくれる。	・今後もご相談等があった場合には迅速な対応を心掛けてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	0	(未回答：1) ・相談事に真摯に対応してくれて助かっている。	・連絡帳やお電話、メール等、内容等に合わせてより適切な方法で連携を図るようにしています。 ・お手紙や連絡帳にふりがなを振る、ひらがなで記入するなどの配慮をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	3	0	0	(未回答：1) ・SNSで毎日様子が見られると良いと思う。	・毎月つくしんぼだよりを発行し、教室の様子をお伝えしています。 ・ご要望にあったSNSの活用について、今後法人内で検討いたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	1	(未回答：1)	・引き続き、個人情報の取り扱いには十分注意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	0	1	(未回答：1)	・マニュアルを整備し、保護者会等で周知しております。 ・感染症の対応研修では、実際の場面を想定したロールプレイ等を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	2	0	2	・自分が関知出来ないだけのように思える。	・法人で月に一度、避難訓練を実施しています。実施の際には連絡帳やつくしんぼだよりでお知らせしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	1	・自分が関知出来ないだけのように思える。	・BCPの作成や送迎車内の置き去り防止装置の設置等、安全の確保をしっかりと行った上で支援をしていますが、十分な周知には至っておりませんでした。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	0	1	・そういった場面にあっていないので分からない。	・怪我等をしてしまった場合には、迅速に丁寧な説明をしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0	・どの先生も優しく接してくれるので安心出来る。 ・時々お迎えに行くとニコニコなので、楽しく過ごしていると感じる。	・今後もお子さんやご家族の気持ちに寄り添った支援を提供し、安心してつくしんぼ教室に通ってもらえるよう努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	2	0	0	・時々お迎えに行くとニコニコなので、楽しく過ごしていると感じる。 ・以前と異なり最近「疲れた」「行きたくない」とこぼすようになったが一時的なものだと思う。 ・行き渋りもなく、「楽しかった」と本人も言っている。 ・満足している。	・お子さん達がつくしんぼ教室で充実した毎日を過ごせるよう、スタッフ一同で活動プログラムの工夫やきめ細かな支援を提供しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0	・本人だけでなく家族にとっても通って良かったと思う。とても手厚く支援してもらっているので満足。	・引き続き、お子さんとご家族に満足いただけるような支援の提供に努めてまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こども発達支援センターやわた	公表日	令和7年3月5日
------	----------------	-----	----------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動ごとに部屋や場所を変えて、人数や活動内容に十分なスペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		お子さん一人ひとりに丁寧に対応できるように、職員の配置を加配しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子さんが何をするのが分かりやすいように部屋ごとに構造化しています。	玄関や各部屋は段差のないバリアフリーですが、2階への移動手段が階段のみです。手摺りをつけています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、部屋を仕切って個室で対応することが出来ます。	複数のお子さんが必要な場合は、場所や人手の都合で確保が難しいこともあります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日のミーティングや会議で振り返りを行っています。会議等に出席できない職員には会議録を閲覧するなどして情報を把握してもらっています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者評価を実施し、保護者会で周知、回答し、改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングや会議、面談等、様々な機会に職員の意見を吸い上げる機会を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者による外部評価を受けました。評価結果を業務改善につなげていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修や法人内での階層別研修、オンライン研修等、様々な研修を用意し、資質の向上を図っています。	パート職員も含めた研修の実施が難しい状況です。今後は、全職員が必要な研修を受けられるように研修計画を策定します。
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに公表されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者に意向調査表を記入していただき、保護者のニーズや一人ひとりの発達段階を踏まえて作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		複数の職員で支援会議を行いながら、より適切な支援計画を作成するように努めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達検査等フォーマルなアセスメント以外にも、事業所独自のアセスメント表を作成し、使用しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		各グループの職員からプログラムを提案してもらっています。週間プログラムに落とし込む作業は、担当スタッフが行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○	同じプログラムに繰り返し取り組むことで習熟度を上げること、内容を変えて新奇性を高めることの両立を目指しています。	よりお子さん達の興味や関心、目標に合わせた活動プログラムに、日々アップデートしていく必要があります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		専門的支援との連携も図りながら、グループ活動と個別活動を組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前後にはミーティングをしています。話し合った内容は書面に残し、勤務時間の違うパート職員にも周知しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		同上。	時間が限られているため、話し合う内容については取捨選択が必要です。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			より必要性や実用性の高い情報を残すための記録の書き方については、検討が必要です。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に一度は見直しをしています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			セルフプランの利用者が多いため、機会や場の設定等は積極的に担う必要があります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所等訪問支援等とも連携し、定期的に情報共有や相互理解を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		すまいるプランを作成し、必要な情報を提供しています。その上で、直接引き継ぎを行う機会を設けるようにしています。	就学後に何かあった場合も、フォローするようにしています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		専門職や多分野の専門機関から	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		近くの幼稚園や保育園との連携を検討していきます。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳でお子さんの様子を共有したり、悩み事の相談をお受けしています。送迎時には、必要な伝達を行うようにしています。		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者向けの講習会を実施したり、講演会の情報提供等をしています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会や参観時に、保護者同士で懇談する時間を設けています。 行事や地域貢献公益事業のおもちゃ図書館などをご案内して、交流の場を提供しています。	きょうだい同士の交流については、現状では場を設けていませんが、状況に応じて検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		教室のおたよりを毎月発行しています。 今年度は、ホームページをリニューアルしました。	SNSは、令和7年度から開始する予定です。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		年5回開催している地域貢献公益事業の「おもちゃ図書館」は地域の来場者が増えています。また、地域の方がボランティアで参加してくれています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年間計画にもとづいて実施しています。	お子さんやご家族にも参加してもらおう訓練の実施を検討しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の指示書の内容も含めて保護者から聴き取りを行い、アレルギーの除去食を対応しています。	保護者からの申告、1年毎に検査を受けてもらうなど定期的な確認の仕方は今後検討していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を掲示し、保護者会などで内容を確認してもらうようにしています。	詳細な内容については、周知の方法を検討していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日のミーティングでヒヤリハットを報告し、や毎月の会議でリスクマネジメントを行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止チェックリストを実施したり、研修等を実施して、職員の虐待防止や権利擁護の意識を高めています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			(対象となっているお子さんがいない。)	